

各業務：院内感染対策室

－概要－

当院では院内感染対策に当たるため院内感染対策室を設置している。2014年度は総合内科・感染症内科部長兼感染症センター長の倭が室長となった。専従の感染管理認定看護師の山内が副室長を務め感染症関係の各種会議を組織している。

感染対策に関する院内の組織は、院内感染対策委員会、院内感染対策チーム(ICT)、院内感染対策ワーキンググループから成り立っている。

主な実働部隊であるワーキンググループのメンバーは、医師(リンクドクター)・看護師(リンクナース)・薬剤師・臨床検査技師・放射線技師・臨床工学技師と他職種により構成され、感染防止に関するさまざまな活動を行っている。活動方針は毎月第1水曜日に行うICT会議で決定し、第2火曜日に開催する院内感染対策ワーキンググループ会議で議論したうえで、最終的に第4月曜日に開催する、室長が委員長を務め、院長はじめとする病院幹部、各診療科責任者、各部署の看護師長で構成する院内感染対策委員会で報告し、承認を得ている。

実際の感染対策活動は、ワーキンググループの中を更に小グループに分け、細かい対策を行っている。

ICTラウンドは総合内科・感染症内科医師を中心に、抗菌薬の適正使用に対する介入を目的として行っている。環境ラウンドは院内感染対策室メンバー・病棟リンクナース・感染管理エキスパートのメンバーで行い、各病棟の環境を調査し感染の視点からの問題点と改善策を現場にフィードバックを行っている。教育活動としては、年3つのテーマで院内感染対策研修会を実施している。サーベイランスに関しては、耐性菌サーベイランス、中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランス(BSI)、手術部位感染サーベイランス(SI)を行い、その結果をフィードバックしている。

日本環境感染学会総会には2014年度は当院2題の演題を発表した。

感染防止対策加算の活動として地域で連携している感染防止対策加算2を取得している6施設と年4回の合同カンファレンスを開催、また感染防止対策加算1取得4施設と互いに医療機関に赴いて年1回相互に感染対策に係る評価を行った。

－実績－

2014年度 院内感染対策ワーキンググループの活動と担当者

グループ	細目	担当者
サーベイランス	BSI、SSI 針刺し、粘膜汚染	山内
環境ラウンド		リンクナース 倭 福岡 泉原 北島 宮本 ^紅 宮本 ^訓 山内
医療材料	新規医療材料の検討	倭 山内
教育	職員に対する教育活動 (院内感染対策 研修会)	倭 山内
清掃関係	針落下の状況調査、清掃ミーティング	山内
広報	The院内感染対策News 発行	山内
耐性菌、抗生剤	抗生剤適正使用チェック 医師への指導 サーベイランス	倭 須合 福岡 泉原 北島 宮本 ^紅 宮本 ^訓 山内

◆サーベイランス

《針刺し・粘膜汚染 件数》

報告件数 推移			
	針刺し	粘膜汚染	合計
2010年度	43	7	50
2011年度	40	5	45
2012年度	41	6	47
2013年度	37	14	51
2014年度	41	18	59

《評価》

2014年度は前年度に比べ針刺し・粘膜汚染ともに各4件ずつ増加し全体では8件の増加が見られた。職種別では看護師からの報告が多いことには変わりなかった。割合(件数/配置数:H27.3)に換算すると7.4%で、昨年の5.5%と比べると増加がみられた。医師は同様に割合計算すると11.3%であり、昨年度と同様であった。全報告数に対する割合では、看護師からの報告が57.6%、医師からの報告は25.4%であった。

器材別ではインスリン関連が昨年の3件から今年度10件と大幅な増加であった。インスリン関連の原因として、ペン型インスリン使用後のリキャップや針落下による原因であった。対策として、リムーバーの使用を促した。昨年度、13件と一番多かった縫合針は、4件と減少した。

粘膜汚染については、18件のうち患者による噛み付き・引っ掻きが4件、目の粘膜汚染が14件であった。目の粘膜汚染の状況はゴーグルもしくはフェイスシールドを装着して

おれば防げる状況のものばかりであった。対策として、ゴーグルなどの使用を促すと共に、来年度に向けてスタッフが使用しやすいゴーグルの導入を検討・サンプリングを実施していく。

【BSIサーベイランス】

期間	延べ入院患者数	延べ挿入日数	使用比	感染率
2014年4月 ～2015年3月	10,435	862	0.08	3.17

◆教育

・院外講師を招いての講習会

テーマ:忘れてはいけない感染症-結核-

講師:独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター
臨床研究センター・感染症研究部 露口 一成 先生

日時:7月15日(火) 17時30分から

忘れてはいけない感染症-結核-				出席率55%
7/15(火)	7/25(金)	7/31(木)	8/13(水)	
エボラウイルス病 ～特定感染症指定医療機関としての当院の対応について～ 2次感染予防(個人防護具着脱訓練を中心に) 出席率45%				
10/28(火)	10/30(木)			
標準予防策 手指衛生と針刺し対策を中心に 出席率55%				
2/12(木)	2/17(火)	2/19(木)	3/3(火)	3/5(木)
3/6(金)	3/9(金)	3/10(火)	3/11(水)	3/19(木)

◆広報

The 院内感染対策 News 発行

◆ICTラウンド 675件 (2014年4月～2014年5月)

ICTラウンドメンバー

医師、薬剤師、検査技師、看護師

ラウンド日時

実施日:毎週金曜日

選定方法

- ・ラウンド前日に各部門が情報収集
- ・13:30～ラウンド実施
- ・カルテ記載
- ・16時～ラウンドまとめ報告書作成

ラウンド報告

- ・各部署、各主治医へ報告書の提出
- ・毎月ワーキンググループ、ICT、
院内感染対策委員会での報告

◆環境ラウンド

環境ラウンドメンバー

医師、薬剤師、検査技師、看護師

ラウンド日時

実施日:第1・3金曜日

方法

- ・1年間の環境ラウンド実施場所・メンバーを文書にて提示
- ・10:00～ 2チームに分かれラウンド実施
- ・10:45～ラウンドの結果についてディスカッションを行う

ラウンド報告

- ・各部署へ報告書の提出
- ・毎月ワーキンググループ、ICT、
院内感染対策委員会での報告

